

<p>国語Ⅱ (Japanese Ⅱ)</p>	<p>2年・通年・3単位・必修 物質化学工学科 担当 松井 真希子・鍵本 有理</p>	
<p>〔準学士課程(本科 1-5 年) 学習教育目標〕 (3)</p>		
<p>〔教育方法等〕 概要： 国語には二つの面がある。一つは、文章を読んでその登場人物の気持ちに共感できる、あるいは書いてある内容を理解するということである。そのためには受講生一人一人が自身の生きた経験とひきつけて文献を読み解く必要がある。もう一つは、自分の意見や感想を表現するということである。 真に理解しているか否かは、言葉で表現し、説明することができるか否かで判断することができる。この二面をふまえて、「考える」「読む」「書く」「話す」能力を養うことを目指す。</p> <p>授業の進め方と授業内容・方法： 高等学校第2学年に相当する国語の力を身につけるため、高等学校用の教科書を使用し、いろいろな文章を読んで様々な角度から物事を考える。そして、その内容を言葉でまとめ、ノートや文章に「形として」残していくようにする。 週3時間のうち、2時間を現代文、1時間を古典（古文・漢文）の時間に当てる</p> <p>注意点： 関連科目 国語は、人文科学や社会科学系だけでなく、自然科学系科目を含む全ての科目の基礎でもある。</p> <p>学習指針 講義中の解説を聞き、板書内容を写すだけではなく、自身の経験にひきつけながら主体的に文章を読み解いていくことが重要である。</p> <p>自己学習 授業で指示された課題は確実にこなす必要があるが、それに加えて、新聞や書籍を積極的に読み、問題意識を持って物事を考えるよう習慣づける。 古典については毎時間、予習をすること。教科書の本文を写し、大事な注なども写しておく。そして、意味や訳のわからなかったところを授業で補い、ノートに記入するようにするとよい。</p>		
<p>〔教科書〕 「精選 現代文B」・「高等学校 古典B」（ともに明治書院）</p> <p>〔補助教材・参考書〕 「新国語便覧（新版三訂）」（第一学習社）、「常用漢字ダブルクリア」（尚文出版） 「古典にいざなう新古典文法」（本編・準拠問題集 ともに大修館書店）、その他独自補助教材 国語辞典を一冊準備しておくこと（電子辞書でもよい）。</p>		
<p>〔到達目標〕</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 高等学校2年生相当の漢字力や語彙力を身につけている。 2. 評論文について、筆者の意見を的確に把握し、正確に要約することができる。 また、筆者の意見に対して、自身の意見を、根拠をもって表現することができる。 3. 小説について、登場人物の心情の変化を読み取ることができる。また、自身の経験にひきつけて感想を述べることができる。 4. 日本の伝統的な言語文化について興味・関心を持ち、その価値に気づくことができる。 5. 文語のきまり、漢文訓読のきまりを身につけている。 		
<p>〔評価割合〕 定期試験成績（70％）を基本とし、これに課題・ノート提出（20％）、授業中の音読・発表等の態度や漢字テスト・小テスト（10％）を加えて総合的に評価を行う。</p>		

授業計画

	週	授業内容・方法	到達目標（現代文）	自己評価*	授業内容・方法	到達目標（古典）	自己評価*
前期	1週	ガイダンス 評論 1-①	『この瞬間を歴史に刻む』の構造が理解できる。		ガイダンス 説話『沙石集』	「児の飢食ひたること」を読む。ノートの取り方を工夫することができる。	
	2週	評論 1-②	『この瞬間を歴史に刻む』の筆者の意見を理解し、要約することができる。		説話『十訓抄』	「大江山」説話のおもしろさを理解することができる。	
	3週	小説 1-①	中島敦について、概略を説明できる。 『山月記』のあらすじが言える。		『竹取物語』 (1)	竹取物語「帝の求婚」を読み、あらず時を理解できる。	
	4週	小説 1-②	『山月記』について、李徴と袁儔の人物が説明できる。		『竹取物語』 (2)	「かぐや姫の昇天」①基本的な古典単語についての知識を身につける。	
	5週	小説 1-③	『山月記』の、李徴の心情の変化と自己分析について説明できる。		『竹取物語』 (3)	「かぐや姫の昇天」②古典作品の内容を読みとり、訳すことができる。	
	6週	小説 1-④	『山月記』の、李徴が虎になった背景について自分の意見が述べられる。		『竹取物語』 (4) 古文の窓	「かぐや姫の昇天」③敬語から主語を考えることができる。	
	7週	前期中間試験	授業内容を理解し、試験問題に対して正しく解答することができる。		前期中間試験	授業内容を理解し、試験問題に対して正しく解答することができる。	
	8週	試験返却・解説	試験問題を見直し、理解が不十分な点を解消する。		試験返却・解説	試験問題を見直し、理解が不十分な点を解消する。漢文訓読の復習。	
	9週	評論 2-①	『近代都市のレトリック』の構造が理解できる。		漢文 故事・逸話(1)	「矛盾」文訓読の基本的なきまりを身につけ、内容を理解できる。	
	10週	評論 2-②	『近代都市のレトリック』の筆者の意見を理解し、要約することができる。		故事・逸話(2)	「推敲」再読文字などのある漢文を訓読できる。故事成語について知る。	
	11週	詩-①	『小景異情』を読んで、作者にとっての「ふるさと」について意見を述べられる。		漢文 史話・史伝(1)	「鴻門之会」①日本と外国文化との関連に関心を持つことができる。	
	12週	詩-②	『永訣の朝』の「いもうと」の言葉と「わたし」の思いについて意見を述べられる。		史話・史伝(2)	同上②漢文の内容と、登場人物の関係を理解できる。	
	13週	俳句-①	俳句の表現法や規則を理解している。正岡子規・河東碧梧桐の俳句を味わう。		史話・史伝(3)	同上③漢文訓読の上で注意すべき語法・語句の知識を身につける。	
	14週	俳句-②	杉田久女・川端茅舎の俳句を味わい、四者の俳句について感想が述べられる。		史話・史伝(4)	同上④漢文の内容を理解し、歴史書の面白さを味わうことができる。	
	15週	前期末試験	授業内容を理解し、試験問題に対して正しく解答することができる。		前期末試験	授業内容を理解し、試験問題に対して正しく解答することができる。	
	16週	試験返却・解説	試験問題を見直し、理解が不十分な点を解消する。		試験返却・解説	試験問題を見直し、理解が不十分な点を解消する。「徒然草」概説。	
後期	1週	評論 3-①	『科学と世界観』の構造が理解できる。		『徒然草』(1)	「世に語り伝ふること」①重要古語に注意して口語訳できる	
	2週	評論 3-②	『科学と世界観』の筆者の意見を要約し、自分の意見が述べられる。		『徒然草』(2)	同上②現代社会にも通じる筆者の主張について理解できる。	
	3週	小説 2-①	『パプーシュカ』について、「私」と「彼」のそれぞれの心情が理解できる。		『徒然草』(3)	「これも仁和寺の法師」①古典のあらすじを理解できる。	
	4週	小説 2-②	『パプーシュカ』について、「私」の声が出なくなる前後の変化が説明できる。		『徒然草』(4)	同上②内容を理解し、登場人物の心情について考えることができる。	
	5週	小説 2-③	『パプーシュカ』について、「第三の女」の意味が説明できる。		『徒然草』(5)	同上③話の面白さと結末について理解できる。	
	6週	小説 2-④	『パプーシュカ』における、「お母さん」の存在の意味が説明できる。		『方丈記』(1)	「ゆく河の流れ」日本の三大随筆について文学史の知識を身につける。	
	7週	後期中間試験	授業内容を理解し、試験問題に対して正しく解答することができる。		後期中間試験	授業内容を理解し、試験問題に対して正しく解答することができる。	
	8週	試験返却・解説	試験問題を見直し、理解が不十分な点を解消する。		試験返却・解説	試験問題を見直し、理解が不十分な点を解消する。源氏物語概説。	
	9週	小説 3-①	夏目漱石について、概略を説明できる。 『ころも』のあらすじが言える。		『源氏物語』 (2)	「光源氏誕生」①古典常識に関する知識を身につける。	
	10週	小説 3-②	『ころも』について、「私」の心情の変化を軸に、場面を正確に把握できる。		『源氏物語』 (3)	同上②登場人物の人間関係について理解できる。	
	11週	小説 3-③	同上。		『源氏物語』 (4)	「小柴垣のもと」①源氏物語の「若紫」のあらすじを理解できる。	
	12週	小説 3-④	「私」の心情と態度を関連づけて、その経過を正確に辿ることができる。		『源氏物語』 (5)	同上②古典常識についての知識を身につける。	
	13週	小説 3-⑤	同上。「K」が自殺した動機について、自分の意見を述べられる。		『源氏物語』 (6)	同上③重要古語や敬語の知識を身につける。	
	14週	小説 3-⑥	『ころも』について、正確な日本語で感想文が書ける。		『源氏物語』 (7)	同上④上記の知識をふまえ、古典を正確に口語訳することができる。	
	15週	学年末試験	授業内容を理解し、試験問題に対して正しく解答することができる。		学年末試験	授業内容を理解し、試験問題に対して正しく解答することができる。	
	16週	試験返却・解説	試験問題を見直し、理解が不十分な点を解消する。		試験返却・解説	試験問題を見直し、理解が不十分な点を解消する。	

* 4：完全に達成した， 3：ほぼ達成した， 2：やや達成できた， 1：ほとんど達成できなかった， 0：まったく達成できなかった。